

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4698900018
法人名	有限会社 笑風会
事業所名	グループホーム ゆい
所在地	鹿児島県奄美市笠利町喜瀬2437番地1 (電話) 0997-55-2278
自己評価作成日	平成28年12月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームゆいは地域密着型サービス事業所として、地域との係りを大事にしています。奄美が新緑を迎える暖かい5月になると、事業所は集落の老人クラブとの交流会や地域の小学生との交流をグループホームで行います。今では老人クラブの方々とは顔なじみとなっています。又小学校の児童も紙芝居や折り紙、絵本等それぞれ持参し2時間ほどお年寄りとの交流を楽しんでいます。8月は夕涼み会を施設で行い、ご家族へ声を掛け、バーベキュー大会を行い食事を一緒にされています。10月は地域に昔ながらに受け継がれている行事、豊年祭「種おろし」に事業所で参加。夕暮れに集落の方々が三味線、太鼓を鳴らしながら施設へ来られ、中庭で輪になり踊りを繰り広げます。お年寄りも輪の中で踊られる方や、車椅子で踊りに参加する方もいます。施設の敬老会にはご家族や地域の方も来られ一緒に楽しみとしています。このように地域との係りを大切にし、ご本人が楽しみとしていることを継続して行っています。

- ・当事業所は地域の人々との強い絆が十分に図れており、近隣の小学校との交流が長年続いており、昨年は紙芝居や歌を披露し、子供たちとふれ合って利用者から喜ばれている。
- ・町主催の文化祭に事業所の「ゆいのコーナー」設けて利用者の作品や写真を掲載する等の協力関係を築いている。
- ・自治会への加入や地域の行事、豊年祭の種おろしなど事業所の中庭で行い、三味線や太鼓・踊りなど、一緒に参加している
- ・本人の希望するかかりつけ医が3ヶ所あるため往診も個々の曜日にかかりつけ医が来てもらえる。緊急時など安心して対応ができ医療との連携が図られている。
- ・災害対策として年2回の災害避難訓練と地域の防災訓練、2ヶ月に1回は自主訓練で避難誘導訓練を行うなどの災害対策も十分に行っている。
- ・食事を楽しむ為にバイキングや献立を聞きながら作り、家族との外食や受診後の職員との外食なども個々に応じて対応するなど、食事を楽しむ工夫を行っている。
- ・外出支援であやまる岬近くの牧場の馬の見物に行ったり、事業所前の護岸にテーブルを設置し、全員参加でお茶タイムを楽しんでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りの時など、理念を共有し日常的に実践していけるように努めています	事業所の理念では地域の人々との繋がりを大切にしている。理念を玄関入口や食堂の2ヶ所に掲示し、朝の申し送り時に唱和して職員全員で共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年地域の行事に参加しています。豊年祭の時期には地域の方が来られ施設中庭で入居者の方と八月踊りを踊り交流されています。	地域行事の豊年祭は事業所中庭で行い、三味線や太鼓・踊りなど地域住民が参加し、入居者と交流している。自治会にも加入し、各集落の区長へ連絡なども事業所から行うなど発信の場にもなっている。老人クラブ会の実施、小学生との交流など地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎年地域の小学生との交流会を行っており、子供たちはそれぞれ趣向を凝らし、紙芝居や絵本折り紙など、持参してきたものをお年寄りと共に楽しんでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では事業所の取り組み等を報告し、参加者から運営に関する助言を頂きサービスに活かされるようにしています。</p>	<p>運営推進会議は定期的開催し、事業所の状況や外部評価の結果も報告している。参加者から施設内での防災訓練時に行政との連携を取ったほうが良いとのアドバイスや災害時の避難場所の検討・小学生との交流会の継続・地域へ認知症サポート教育など、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に参加していただき事業所の実情は報告しております。事業所の活動は理解を得ています。市町村担当者とは常に電話やメールで連絡を取り合っています。</p>	<p>町担当者とは事業所や利用者の件で相談し適切なアドバイスを得ている。運営推進会議に参加してもらったり、町主催の研修会に参加するなど協力関係を築いている。保護課の担当者も定期的に事業所に来訪し、情報交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員間で朝の申し送りの時や、職員会議などで話し合いながら身体拘束に当たらないかをお互い確認するようにしており身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束をしないマニュアルがあり、職員会議で年1回の研修をしている。職員は身体拘束を認識して把握しており、職員同志でも話し合っている。ベットからの転倒防止で布団に鈴を付け、鈴の音で見回りを行う等の工夫を行っている。日中の玄関の施錠はせずに、外出を好む利用者には職員が付き添う等、職員の連携で自由に外出ができる様に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議などで高齢者虐待防止法について話し合い、常に虐待がないようお互い注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度を利用されている利用者があるため社会福祉協議会の担当者と連携を取り、助言など頂いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	制度の改定の変更については文書及び口頭で説明しご家族の理解を得られるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議へ参加していただいた時や、家族会の時に職員や管理者に要望などできる限る伝えてもらえるようなコミュニケーションを取るよう努めています。	利用者や家族から意見や要望を頂くため意見箱を設置している。利用者とは日常生活の中で話を聞いている。家族には職員に何でも話してもらおうようコミュニケーションを図っている。歩行に支障がある利用者には車椅子での対応をとる要望があったが、事業所としては下肢の筋力アップの為、出入り口からの少しの距離は歩行してもらっているとの説明を行ったり、出された意見や要望等は運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や朝の申し送りの時など、職員の意見を聞き反映できるように努めています。</p>	<p>職員からの意見は毎月の職員会議で提案や要望を聞いている。出された提案で、各行事の過ごし方を検討し、正月は町からビデオを借りて来て観賞するか、レクリエーションに関する話題も多い。不穏状態の利用者に落ち着いてもらう為、ドライブに誘い出すなど、意見や提案を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や実績を把握し向上心が持てるような環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外の研修に参加できる機会の確保をし、職員育成に努めるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会への参加や研修会を通じて同業者との交流を図り連携を取るように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活歴や、好みなどの情報収集を行い安心できるような環境や、関係を持てるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との話し合いの場を設け情報交換を行い、できるだけ安心や信頼関係が築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族から日常生活の情報収集を行い、ご本人や家族の想いも含めて必要とする支援を計画作成担当者や職員と話し合っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご本人を人生の先輩として尊重し認知症の症状からできなくなっている部分をフォローしながらできることを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族も悩みながら関わっていることもあり、職員はそのことを理解しご家族と相談しながら共に支えていけるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と一緒にご主人のお見舞いに出かけたり、施設での面会がいつでもできるように支援しています。	利用者の家族や馴染みの友人・美容師など、事業所に来てもらっている。家族が鹿児島から帰省した時に一緒に外食や墓参りに行ったりしている。島外の家族に電話の対応など行っている。職員と一緒に出かけて、昔馴染みの知人との会話を楽しんでいる。買い物など馴染みの関係が途切れないように支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員がコミュニケーションのかけ橋を行い、お互いが理解しあえるように努め、気の合う者同士、食事の席を近くにする等考慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された時など医療機関への情報提供や面会、ご家族と連絡を取り合い状況の確認や支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりからご本人の想いをくみ取り、表情や言動からご本人が安心されているか等、細やかに確認し検討しています。	日常の生活の中での表情や動作など把握している。テレビ観賞が好きだとか、家に帰りたいとの言葉が出たりする時があり、朝の申し送りや業務日誌に記録して職員全員で把握している。言葉が出なくても表情や仕草・行動等の全体を見ながら本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、家族からこれまでの生活に関する事等情報収集をその都度行っており、日々の経過の把握にも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事の形態（おかゆ、トロミ）や睡眠時間、入浴、起床時間等一人一人の生活リズムに合わせたケアに努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別にケア記録を作成しており職員間の情報共有を行っている。新たな課題やケアの具体策などは職員間で話し合い介護計画に反映されている。	本人や家族の思い・意向などを聞き、職員からの情報を反映し介護計画書を作成している。評価を1ヶ月に1回行い、モニタリングは6ヶ月に1回、状態に応じてその都度変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録は朝夕の申し送りで情報を共有している。又個別記録からも情報の共有ができており実践に活かされています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族が島外に住まわれている方の身の回りの必需品の購入や病院受診付添いなど必要に応じて対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>集落行事への参加で昔ながらの風習を楽しむ機会を設けたり、地域の方が訪問し島唄が聞ける環境を支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人や家族の希望するかかりつけ医との連携を図り受診できるように支援しています。又必要な情報提供を行っています。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医で受診できる様に支援している。往診などの支援も3ヶ所の医療機関が関わり、医療との連携が十分に図れている。利用者の身体に変化があった時や緊急時は家族に連絡し、状況把握の為に職員も一緒に付き添いを行っている。事業所と家族それぞれに受診後の結果報告を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態観察を常に行っており、変化が見られたときは看護師へ連絡し、医療機関との連携を図り必要時は受診を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際は医療機関へ入居中の情報提供を行っています。又入院中の状態を面会や電話で確認するなど医療機関との連携に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態が悪化した時にはその都度ご家族と細かいことまで話し合い相談しています。その際事業所でできる事やできないことを説明しています。</p>	<p>入所時に重度化の場合の説明を行っている。状態が変化した時は家族と主治医とで話し合い、医療との連携や家族の協力など事業所で出来る事、出来ないことの説明を行っている。食事が経口摂取でできる時は受け入れをするが、医療行為になった時は事業所では対応できない事等も伝えている。家族との協力で看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時には看護師、管理者に連絡を取るようになっている。応急手当や初期対応を実践できるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の防災訓練への参加や施設内の避難訓練を行っています。</p>	<p>年2回大がかりな防災訓練を行っている。2ヶ月に1回、事業所独自の訓練も実施している。夜間時の一人勤務の時、消防士2人に来てもらい、時間を測って利用者を連れて逃げる訓練を行っている。避難場所や避難経路も把握している。スプリンクラーも設備されている。非常時の食品として缶詰やおにぎり・水等を備蓄し、オムツ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご本人が、恥ずかしい思いをしないよう配慮した対応を心がけている。</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの確保等のマニュアルがあり、年1回職員会議や全体会の中で研修を行っている。管理者は職員の不適切な言葉かけに気づいた時はすぐに注意している。人前での失禁時には耳元で本人のプライドを傷つけないよう配慮した言葉かけを行い、浴室で対処している。室内でポータブルトイレを使用している利用者には使用しない時は部屋の隅に置く等、本人のプライドを傷つけないよう配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人の想いを日ごろから把握するように努めており、ご本人の声や表情などから自己決定できるような雰囲気を作るようにしています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人の入りたい日に入浴したり、遅い朝食を摂っていただいたり個々の希望に沿って対応しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>髪のカットやヘアバンドで髪の毛のセットや清潔な服装に心がけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に料理の下ごしらえや食事を一緒に摂っています。	利用者個々の力量に応じて野菜の下拵えでニラやもやしのひげの繕い・玉葱の皮むき等やお盆のセッティング・台拭き等、職員と一緒にに行っている。家族と一緒に外出したり医療機関受診の帰りに職員と一緒に外出を楽しんだりしている。年1回のクリスマス会のバイキングでも工夫された食事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みの食事形態（おかゆ、トロミ、キザミ）を提供し、一人一人の食事の状況を把握。又水分量の把握も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアへの声掛けを行っており、ご自分でできる方は見守り、できない方は支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握やご本人の能力やその日の体調によってトイレでの排泄や自室でのポータブルトイレ使用などを検討しています。	排泄チェック表をもとに声をかけてトイレ誘導を行い、水分やその日の体調などを考慮している。トイレへの誘導の利用者が殆どであり、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。夜間は、転倒防止の為にポータブルトイレを使用するなど排泄の自立に向けた支援ができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給やスキนมミルク、繊維質の食べ物を提供。緩下剤等の調整を主治医と相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後から入浴を行っており、ご本人が入りたくない時は日にちをずらしたり、清拭を行っています。	入浴は最低でも週2回は楽しめるよう支援している。浴槽での入浴やシャワー浴を利用している。タンカンの匂いや入浴剤の色・香りを楽しんでもらえるよう支援している。入浴拒否の利用者には職員を替えたり日程をずらしたりして利用者全員が入浴を楽しめる様支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝つけない時や好きなテレビを見たいときは、フロアで職員とお茶を飲みながら過ごすなど状態に応じて対応するようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は看護師から内服薬の説明を受けており、内容について理解してもらっている。症状の変化は報告し確認するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の趣味の情報把握し島唄、歌謡曲を聴いたり、近くをドライブするなど気分転換ができるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い時はドライブ、屋外散歩や屋外でのお茶会、又家族の希望で外出と出かける機会を多く持てるよう支援しています。</p>	<p>日常的には体調と本人の気分次第で天候に合わせて事業所周辺の散歩やお茶会など、外出の機会を作っている。家族が自宅まで連れて行ったり、買物がてら外食を楽しんだりしている。季節的な外出として年1回は花見を行い、月1回は遠出のドライブで、あやまる岬近くの牧場の馬の見物等に出かけている。家族やボランティアの協力を得て車いすの利用者も外出支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員と一緒に買い物に出かけお金を支払ったり、お財布にお金を所持しているため確認は行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでもご家族には連絡してくださいと伝えていきます。必要な時は家族へ連絡をとりやり取りができるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	洗面所には椅子を設置し玄関には衝立を置き生活感が出せるよう工夫しています。脱衣室には温度差が出ないように暖房で温めています。温度計が設置され確認しています。	共用のホールは広くて明るく職員と利用者が協力して作成した貼り絵の作品が飾られている。小学生のお礼の作文や交流の場面と学んだことが学校新聞として掲載されていて、児童との交流の様子が伺え利用者や児童の明るい笑顔の写真で心が暖くなり、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う者同士ソファーに座り好きなテレビ番組を見たりゆったりとしてもらえるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から仏壇やマリア様の像を持ってこられたり、ご家族の写真を壁に飾ったりしており居心地よく暮らせるようご家族にも相談しています。	個々の居室の入口には花や小鳥の貼り絵の表札が掲げられており、居室には利用者の馴染みの家具や寝具・仏壇などが持ち込まれ、家族の写真や自宅で愛用していた小物類などで利用者それぞれの個性に応じた飾り付けで、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ見守りの中で移動できるように支援しているが、声掛けで手すりをつかんでいたり、車いす自走が安全にできているか付き添ったりしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない